

べ 2000 人が参加したと報告。そして「新婦人の会は女性、地域の共同の中心になりたい」と語りました。

埼玉憲法会議の渡辺政成事務局次長は、総選挙では、県内 15 あるすべての選挙区で共闘ができ、野党共闘分裂の攻撃の中で、希望の党に移ろうとする候補者を説得したとりくみ等を報告。「こうした運動が地域では労働組合が支えていた。3000 万人署名はオール埼玉総行動として 200 万人を目標として取り組む」と決意を語りました。

最後に、提案された方針と決算・予算を全員の拍手で確認しました。

11月9日、都内でも9ヵ所で「9の日行動」

11月9日、全国各地で「9の日宣伝行動」が行われました。都内では、憲法共同センターの呼びかけに応じて、「3000 万人署名」の大きな波をつくろうと、宣伝箇所をいつもの新宿宣伝に加えて、都内 8 ヵ所でも取り組まれました。

新宿駅西口では、全労連の各単産と事務局が、全商連・革新懇・自由法曹団と一緒に宣伝。四ツ谷駅では全教が、大塚駅前では東京地評・年金者組合をはじめ 7 団体、代々木駅前では生協労連・婦団連・民青が、入谷駅前では医労連、巣鴨では自治労連が宣伝を行いました。あわせて 124 人が参加し、113 人から署名が寄せられました。あわせて、都内各駅で、9 条の会や地域労連を中心にしながら、宣伝が取り組まれました。

憲法会議は、新婦人の会、農民連とともに茗荷谷駅前（12：15～12：50）で宣伝・署名行動を行いました。参加者は 17 人でした。35 分のとりくみでしたが、全国 3000 万人署名は 19 人、シール投票では「安倍改憲」に賛成 1、反対 8 でした。対話では、「選挙後、国会に憲法改正に熱心な人が増えて心配。改憲とめなきゃね」「この署名をしたかったです。何度もしたらだめですか？」（女性）、「憲法は変えなきゃ（守れないんだよ）」（若い男性）、「（改憲に反対）シールをいっぱい貼りたい」等の話がありました。

他の宣伝箇所でも署名した方からは安倍政権への怒りと不安が語られています。新宿では、「北朝鮮のことも、安倍さんは戦争を仕掛けているようで怖い」「福島の出身だけど、原発や核兵器への態度を見ると、本当に怒り心頭だ」と語られました。代々木駅前では、青年の訴えに高校生が足を止めて、「安倍さんの進め方に反対です」「9 条が平和を守っているのに、変えようなんて！」と署名をしてくれました。

行動に参加した仲間は、「まだまだ、署名が知られていないというのが実感です。安倍政治に怒りを持ち、『何かしたい』と思っていた方が、署名板に突進して署名をするという姿がよく見られます。今、宣伝署名行動が待たれています」と語っていました。

（全労連 平和憲法・平和闘争にユースに加筆）

3000 万人署名のとりくみ

静岡 革新懇が署名行動、1 時間で 34 人署名

平和・民主・革新の日本をめざす静岡県の会（静岡県革新懇）は 13 日、静岡市葵区伝馬町で「安倍 9 条改憲 NO！3000 万人署名」宣伝に取り組みました。1 時間で 34 人分集めました。「日本が戦争する国になっていいの？」と問うと、若者が賛同して署名する姿がありました。

事務局長の北野庄次氏、世話人の松浦敏夫氏、共産党の森大介県書記長が「憲法が変えられれば災害救援で奮闘し、専守防衛の立場を貫いてきた自衛隊が海外の戦争に動員されることになります。憲法 9 条により戦後 72 年、日本の平和が守られました。世界に誇る平和憲法を変えさせてはなりません」と訴えました。

署名した藤枝市の男性（17）は「戦争の動画を見て絶対にしてはいけないと思う。戦争をしないためには武器を放棄したほうがいい」と語り、清水区の女性（15）は「学校で憲法の大切さを学んだ。9条が変わると戦争に向かってしまう。私たちの将来が心配」と、若者二人が署名しました。

埼玉 「安保法制廃止・立憲主義回復をめざす連絡会」が講演会開催

川越市で「安保法制廃止・立憲主義回復をめざす川越・富士見・ふじみ野連絡会」が13日、講演会を開催しました。総がかり行動実行委員会の共同代表高田健氏が講演しました。

高田氏は総選挙で全体として野党共闘勢力が躍進した理由として、党利党略の解散に怒った市民の声がインターネット上のSNS等で配信された、市民の主権者意識が向上した、共産党が候補者を一方的に降ろして野党共闘勢力の勝利に貢献したなどを挙げました。また、共産党が多く選挙区で候補者を取り下げたことについて、「本気で野党共闘を続けたいとの意思を感じる。共産党は、野党共闘勢力の躍進を作り上げたことを誇っている」と話しました。

さらに、高田氏は改憲発議後に行われる国民投票について、①テレビなどでの宣伝自由。財力がある組織が有利になる。②最低投票率の規定がない。③運動基



意を正当に反映するものでない」と批判しました。そして、今後の活動について、「改憲発議阻止のたたかいが重要。あわせて改憲反対の広範な世論を作る。3000万人署名はそのための有効なツールになる」と話しました。

滋賀 憲法9条投票「変えない」が76%！全教滋賀

全教滋賀教職員組合は10日、草津市のJR草津駅前で、憲法9条を「変える」「変えない」のシール投票を呼びかけ、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」を集めました。

約10人が参加し、安倍政権の危険な狙いを知らせるビラを配布。「権力から私たちを守るために作られている憲法を、権力者である安倍首相がいま変えようとしています。皆さんの意見を聞かせてください」と呼びかけると、高校生や若者が立ち止まって投票していました。

「変えない」に投票し、署名にも賛同した高校3年生の女子生徒は「人が殺されるのはいや」と話しました。また、小学生の2人の子どもと一緒に投票した母親は「下の男の子が将来、戦争に行くことがないよう9条は変えてほしくない」と署名しました。

約1時間に105人が投票し、80人（76%）が「変えない」にシールを貼りました。



**安倍9条改憲を許さない
森友・加計学園疑惑徹底追及
安倍内閣の退陣を要求する
11・19 国会議員会館前行動
11月19日 日 14:00～
場所：第2議員会館前を中心に**

主催：安倍9条改憲NO！全国市民アクション実行委員会
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会